

2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 株式会社マミーマート 上場取引所 東
 コード番号 9823 URL http://www.mammymart.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 裕文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 岩本 潤 TEL 048 (654) 2514
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の連結業績（2018年10月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	81,709	4.5	1,707	△23.6	2,034	△20.2	1,295	△19.9
2018年9月期第3四半期	78,174	1.0	2,234	△12.6	2,550	△10.7	1,617	△15.1

(注) 包括利益 2019年9月期第3四半期 1,209百万円 (△25.8%) 2018年9月期第3四半期 1,629百万円 (△18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	120.05	—
2018年9月期第3四半期	149.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第3四半期	56,165	24,497	43.6	2,267.49
2018年9月期	57,740	23,590	40.8	2,183.72

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 24,477百万円 2018年9月期 23,573百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2019年9月期	—	18.00	—		
2019年9月期（予想）				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年9月期の連結業績予想（2018年10月1日～2019年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	4.4	2,320	△16.2	2,720	△15.6	1,730	—	160.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年9月期3Q	10,796,793株	30年9月期	10,796,793株
② 期末自己株式数	31年9月期3Q	1,955株	30年9月期	1,945株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年9月期3Q	10,794,841株	30年9月期3Q	10,794,918株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における小売業界を取り巻く経営環境は、人手不足による人件費の増加、物流コストの上昇、ライフスタイルの多様化による業態を超えた競争など、ますます厳しくなっております

このような環境の中、当社グループ(当社及び連結子会社)は、「食を通して健康になる」という当社グループコンセプト「Enjoy Life!」の考えを柱と定め、「ベーシック・ラインの強化」「付加価値の向上」「M3活動の推進」の3つの重点項目を一層進めてまいりました。

[ベーシック・ラインの強化]

商品事業部・販売事業部が一丸となって販売施策の統一、売れ筋商品の販売力強化を進めており、効率的に施策展開できるように店舗のエリア・構成を再構築いたしました。この一環として、ハード面では、環境変化や経年変化を考慮した既存店舗の活性化計画の実行を着々と進めております。ソフト面では、時間帯別人員配置の適正化、商品の鮮度管理、品切れ防止を最重要課題として、売場の完成度を高めてまいりました。

[付加価値の向上]

「おいしい健康を咲かせよう」を合言葉に、素材から製法、機能性などにこだわった商品をお手頃価格で提供する当社オリジナル商品の開発に取り組んでおり、継続してプライベートブランド品の拡大に努めております。また、メディアにも取り上げられ、好評を得ております当社オリジナルの「店内焼き上げピザ」は松戸新店をはじめ18店舗にてご提供させて頂いており、今後も拡張していく予定です。

「お客様の健康をサポートする店」を目標に、お客様へ積極的にアドバイスできる人材を増やすため、社内資格「たべもの学」を通して従業員の食と健康に関する知識を深めております。「ヘルシーコンシェルジュ」が常駐する店舗(ビバモールさいたま新都心店他14店舗)では体験型ワークショップの定期的な開催をしております。

[M3活動の推進]

「M3プロジェクト」活動では、推進の一環として全従業員が“主体的”に日々の課題や問題点を解決・改善へと繋げていくことで、やりがいや達成感を感じられる社内制度、環境づくりに継続して取り組んでおります。中には全店展開した改善取り組み事例や社外発表など大きな成果を生んだ事例も出ております。

また、他企業や専門審査員からの評価を受けることで接客の見本となる人材を育成し、接客レベルの向上を目指してCGCグループの関東地区チェッカーフェスティバルに出場し、本年も上位入賞を果たし、全国大会への出場を決めるなど成果も出ております。

食品ロス削減のため「(納品期限の)2分の1ルール」採用についても第4四半期から開始する準備しております。

設備投資としましては、マミーマートにおきまして、2018年11月に柏旭町店(千葉県柏市)、同12月に下戸田店(埼玉県戸田市)を開店し、2019年6月30日現在の店舗数は、温浴事業・葬祭事業を含め79店舗(うち1店舗は現在改装閉鎖中)であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結営業成績は、売上高81,709百万円(前年同期比4.5%増)、営業利益1,707百万円(同23.6%減)、経常利益2,034百万円(同20.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,295百万円(同19.9%減)となりました。

これは仕入価格上昇分を売価に転嫁し切れていないことや物流コスト増加によるものです。

セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

[スーパーマーケット事業]

当第3四半期連結累計期間は、売上高81,326百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント利益1,674百万円（同24.3%減）となりました。

[その他の事業]

売上高382百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益33百万円（同56.0%増）となりました。

- (注) ・「Enjoy Life !」は、お客様に毎日の食生活を通じて健康で充実した人生を楽しんでいただくことを目的とした、当社グループ独自のコンセプトです。
- ・「ヘルシーコンシェルジュ」は、お客様へのメニュー提案や食事に関する相談を受ける街の健康アドバイザー役です。
- ・「M3」とは、My Mami Martの略で、自分たちの会社をより良い会社にしようとする、全従業員参加型の社内プロジェクトです。セグメント別の営業の状況は以下のとおりです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,574百万円減少し56,165百万円となりました。これは主に、有価証券の減少（譲渡性預金の解約）によるものであります。

負債は、前連結会計年度末より2,481百万円減少し31,668百万円となりました。これは主に、借入金の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より907百万円増加し24,497百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年11月14日に公表いたしました「平成30年9月期 決算短信」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,001	3,123
売掛金	1,108	1,127
商品	2,723	2,790
有価証券	2,100	—
貯蔵品	23	13
その他	1,719	1,677
流動資産合計	10,676	8,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,343	12,253
機械装置及び運搬具(純額)	187	186
土地	20,868	20,868
リース資産(純額)	654	598
建設仮勘定	963	698
その他(純額)	1,254	1,243
有形固定資産合計	35,271	35,848
無形固定資産		
	148	121
投資その他の資産		
投資有価証券	331	231
長期貸付金	272	248
差入保証金	7,665	7,607
賃貸不動産(純額)	368	367
繰延税金資産	2,177	2,162
その他	830	845
投資その他の資産合計	11,644	11,464
固定資産合計	47,063	47,434
資産合計	57,740	56,165

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,353	10,266
短期借入金	50	1,540
1年内返済予定の長期借入金	4,928	4,480
リース債務	157	158
未払費用	2,514	2,593
未払法人税等	717	220
賞与引当金	416	183
その他	710	917
資産除去債務	—	88
流動負債合計	19,847	20,448
固定負債		
長期借入金	8,950	6,079
リース債務	1,340	1,222
長期預り保証金	1,635	1,581
転貸損失引当金	54	24
役員退職慰労引当金	299	323
退職給付に係る負債	1,140	1,191
資産除去債務	835	752
その他	44	42
固定負債合計	14,302	11,219
負債合計	34,149	31,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,861	2,861
利益剰余金	18,012	19,006
自己株式	△2	△2
株主資本合計	23,531	24,524
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81	△14
退職給付に係る調整累計額	△39	△33
その他の包括利益累計額合計	41	△47
非支配株主持分	17	20
純資産合計	23,590	24,497
負債純資産合計	57,740	56,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	78,174	81,709
売上原価	57,262	60,261
売上総利益	20,911	21,447
営業収入	1,034	1,018
営業総利益	21,946	22,466
販売費及び一般管理費	19,711	20,758
営業利益	2,234	1,707
営業外収益		
受取利息	44	40
受取配当金	8	8
不動産賃貸料	197	197
受取手数料	155	157
その他	122	134
営業外収益合計	528	538
営業外費用		
支払利息	34	32
不動産賃貸費用	175	176
その他	2	3
営業外費用合計	212	211
経常利益	2,550	2,034
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	10	10
減損損失	30	—
特別損失合計	40	10
税金等調整前四半期純利益	2,509	2,025
法人税等	889	726
四半期純利益	1,620	1,298
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,617	1,295

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,620	1,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△95
退職給付に係る調整額	16	6
その他の包括利益合計	9	△89
四半期包括利益	1,629	1,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,626	1,206
非支配株主に係る四半期包括利益	2	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	77,809	365	78,174	—	78,174
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	0	0	△0	—
計	77,809	366	78,175	△0	78,174
セグメント利益	2,213	21	2,234	—	2,234

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「スーパーマーケット事業」セグメントにおいて、賃貸借契約の終了を決定した物件について、減損損失の計上をしております。当該減損損失の計上額は、30百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパーマー ケット事業				
売上高					
外部顧客への売上高	81,326	382	81,709	—	81,709
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	0	0	△0	—
計	81,326	382	81,709	△0	81,709
セグメント利益	1,674	33	1,707	—	1,707

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業と葬祭事業であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。